

●篠路清掃工場の運転休止について

「スリムシティさっぽろ計画」では、平成16年度に70万トンだった焼却ごみを、平成29年度までに24万トン減の46万トンにすることを目標としているところですが、平成21年7月1日からの「新ごみルール」実施後、市民の協力により家庭から出される廃棄ごみ量（燃やせるごみ、燃やせないごみ）が1人1日当たり400グラムを下回るペースで推移しており、平成22年度の焼却ごみ量が目標に迫る47万トンになることが見込まれています。そこで、篠路以外の3つの工場で処理が可能であると判断し、篠路清掃工場の運転を休止することとしました。

なお、篠路清掃工場の廃止については、ごみ量の推移を見極めた上で、平成22年度中に判断をする予定です。

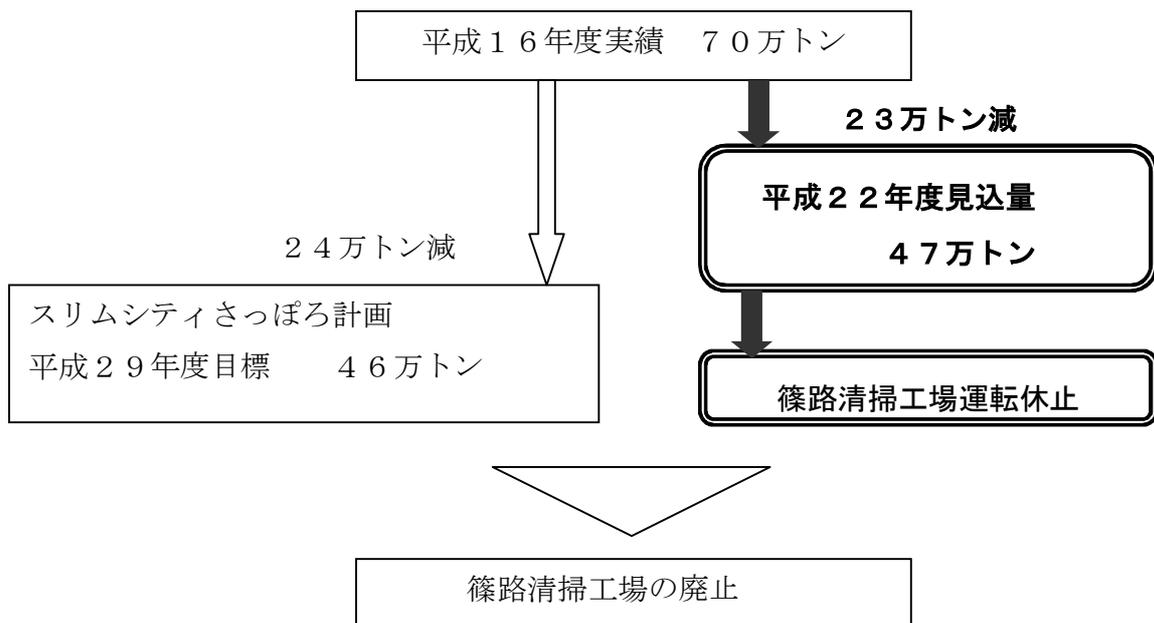
1 時 期

平成22年3月末

（廃止については、ごみ量の推移を見極めて平成22年度中に判断する）

2 その他

- (1) ごみの受け入れ終了日や休止後の管理体制など、詳細については現在調整中。
- (2) 篠路清掃工場に併設している破砕工場およびごみ資源化工場については、平成22年4月以降も当面運転を継続する。
- (3) 「雑がみ」収集量の増加に対応するため、休止した工場の一部を活用し、「雑がみ」リサイクルのための選別を行う。



《参考》

○「新ごみルール」実施前後の家庭から出される廃棄ごみ量の比較

	平成 20 年度 (7～11 月)	平成 21 年度 (7～11 月)	対前年度比
家庭から出される廃棄ごみ量	180,443t ⇒1 人 1 日当たり 621g	111,066t ⇒1 人 1 日当たり 381g	▲38.4%

※1 スリムシティさっぽろ計画では、平成 29 年に 1 人 400g/日以下にすることを目標としています。

※2 新ごみルール開始の 7 月から 5 カ月間の収集ごみ量で比較しています。

○平成 22 年度の焼却ごみ量の見込み

	平成 16 年度実績	平成 22 年度見込み	平成 29 年度目標
焼却ごみ	701,614t	468,000t	461,600t

○札幌市の清掃工場

工場名	所在地	しゅん功年	処理能力
篠路清掃工場	北区篠路町福移 153-1	昭和 55 年	600t/日 (300t/日×2 炉)
駒岡清掃工場	南区真駒内 602-30	昭和 60 年	600t/日 (300t/日×2 炉)
発寒清掃工場	西区発寒 15 条 14 丁目 1-1	平成 4 年	600t/日 (300t/日×2 炉)
白石清掃工場	白石区東米里 2170-1	平成 14 年	900t/日 (300t/日×3 炉)

問い合わせ先

環境局環境事業部企画課 富田、八田

211-2912